

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-117	高等学校	地理歴史	地図	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
81 山川	地図081-901	詳解現代地図 改訂版		

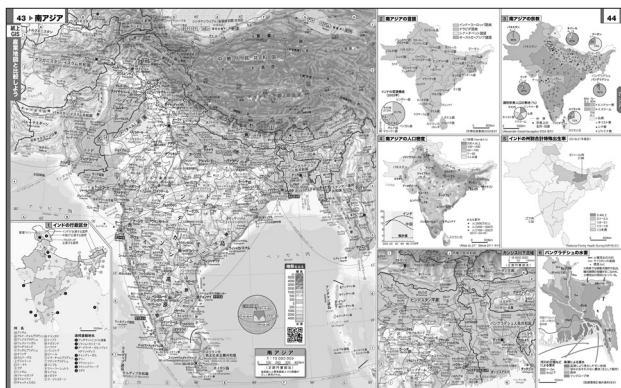
1. 編修の基本方針

世の中の情勢を学ぶにはまず“どこ”で起きた事柄なのかを知る必要があります。その“どこ”がわかるようになるためには日頃から地図に慣れ親しみ、有効に活用することが大切だと考えます。

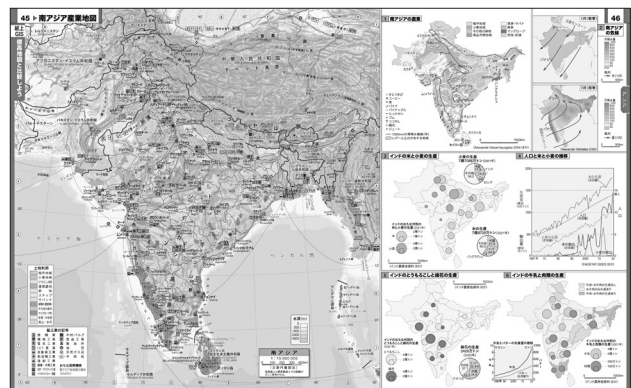
本地図帳は、諸外国や日本の地域内外における位置関係や結びつき、現状や課題など多岐にわたる地理的な見方・考え方および地図を活用する技能を培うことを目的とし、地理歴史科だけでなく他教科・他科目ひいては今後の進路に役立つ知識を身につけることができるようになることを念頭において編修しています。

①“現代（いま）”がわかる世界地図

(1)地域を見比べる「標高地図」と「産業地図」



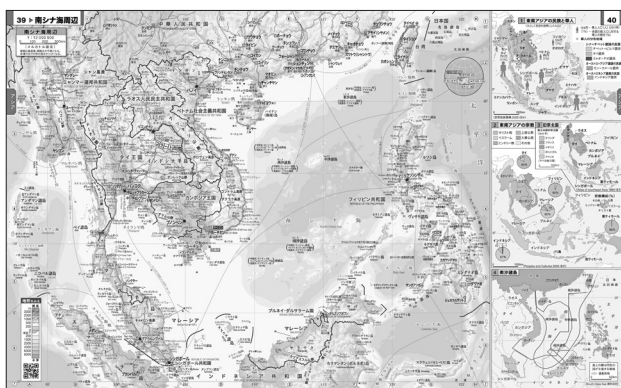
▲P.43～44 南アジア



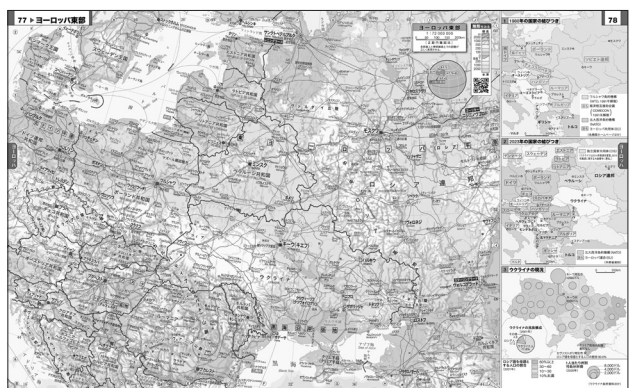
▲P.45～46 南アジア産業地図

多くの産業が盛んな中国、インド、ヨーロッパ、南北アメリカでは、同じ図取りで標高地図と産業地図を掲載し、紙上 GIS として比較したり関連付けたりして地図を見ることができます。

(2)地域の課題を見る「拡大地図」



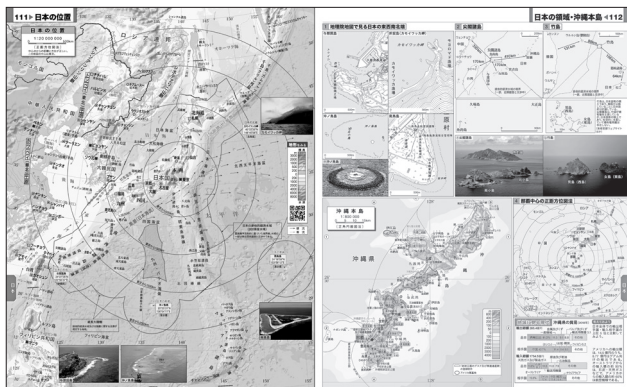
▲P.39～40 南シナ海周辺



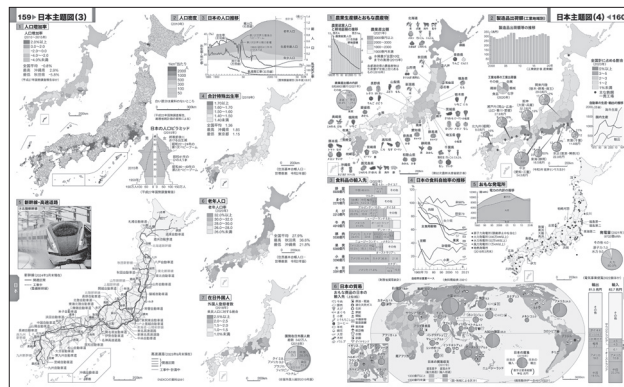
▲P.77～78 ヨーロッパ東部

領有権を巡る「南シナ海」やウクライナ紛争で緊迫する「ヨーロッパ東部」、「イスラエル・パレスチナ」など国際情勢でも注目されている地域の拡大図を掲載しています。

②わが国の現状をとらえた一般図，主題図，統計資料



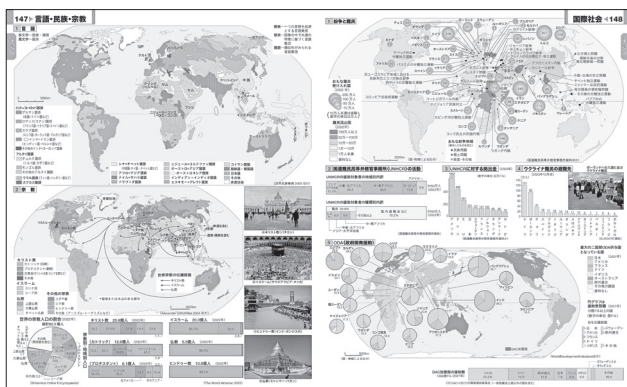
▲P.111～112 日本の位置, 日本の領域・沖縄本島



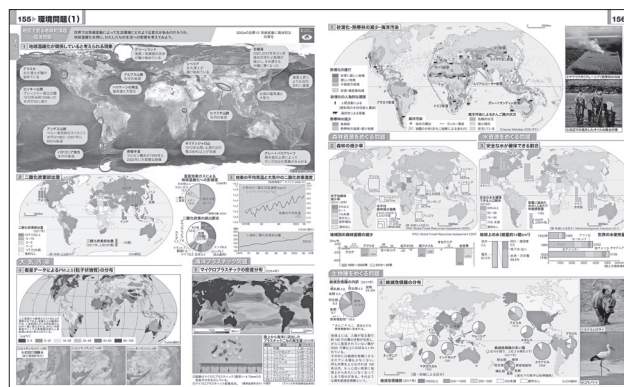
▲P.159～160 日本主題図(3),(4)

日本の領域について地理院地図や写真を用いて視覚的に認識させたり，那覇を中心とした正距方位図で普段と違う視点で見せたりすることで多角的にとらえることができます。また，自然・防災・人口・交通・産業・貿易など多くの分野にわたって日本をとらえる主題図と，都道府県の統計や日本の都市人口の一覧など統計資料が充実しています。

③多種多様なテーマから世界を学べる系統地理学的視点の世界主題図



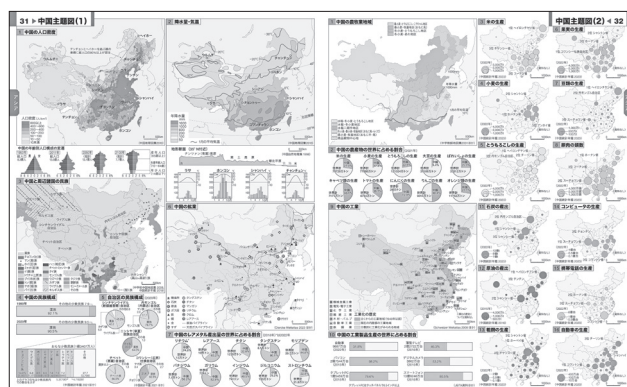
▲P.147～148 言語・民族・宗教, 国際社会



▲P.155～156 環境問題

多くの地理的事象に触れてもらうために，世界主題図や自然のページでは地理において必須なテーマを網羅できるようにしています。自然環境，産業，人口などのテーマをまんべんなく掲載し，さまざまな地理的条件によって今日の社会が形成されていることが理解できるようにしました。

④世界情勢を詳細に学べる地誌学的視点の地域主題図



▲P.31～32 中国主題図(1),(2)

大州や地域ごとの一般図と並んで見られるようにその地域の主題図を掲載しています。その地域固有の問題や地球的課題となるような主題図も取り入れ，「地図で読み解く地域」という形でまとめ取り上げています。中国では加速する世界とのつながりを見て取れる一対一路政策や世界との貿易を，ヨーロッパでは EU の現状や課題を考察できる内容のものを取り上げるなど今現在注目の高い題材を多く取り入れています。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
世界の国々 交通・通信	冒頭のページから、図の多くを日本が中心となるものにすることで、世界の中での日本の位置を理解させ、日本と他国の比較ができるようにしています。(第五号)	P.1～2 図①, 3 P.7 図 1 P.8 図 1, 2, 3, 4
	冒頭のページにて世界の独立国の全てを見られる図を掲載し、一覧性を高めて知識の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第五号)	P.1～2 図①
地形 自然災害 植生・土壌 気候 世界の地形	多数の写真や模式図を収録して、世界のさまざまな自然条件のもと、人々が生活していることを理解させ、火山や地震などの自然災害にも触れることで、自然の大切さや恐ろしさ、災害に対する生命の尊さを考察できるようにしています。(第四号)	P.9～20 P.189～190
世界の一般図 ユーラシア・アメリカ、東アジア、台湾、中国東部、ペキン周辺、長江下流域、珠江下流域、朝鮮半島、東南・南アジア、ジャワ島、南シナ海周辺、南アジア、ガンジス川下流域、イスラエル・パレスチナ周辺、西・中央アジア、カフカス・カスピ海周辺、ペルシャ湾周辺、アフリカ・インド洋、西アジア・北アフリカ、アフリカ中・南部、地中海、ヨーロッパ、ヨーロッパ中央部、イタリア・バルカン諸国、イギリス・アイルランド、北ヨーロッパ・アイスランド、スイス、イベリア半島、ヨーロッパ東部、ユーラシア北部、樺太、北アメリカ、ハワイ諸島、北アメリカ中央部、アメリカ合衆国西部、アメリカ合衆国中・東部、中央アメリカ、南アメリカ、南アメリカ中央部、太平洋・インド洋、オセアニア、ニュージーランド、大西洋、北極・南極	世界の国土や環境の様相にかかわる事柄を一般図中に取り上げて、知識や教養の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第一号)	P.21～110 までの一般図部分
	おもな地形名称を取り上げ、世界のどのような地域に地理的特徴のある地形が存在するのかがわかりやすいようにしました。(第一号、第四号)	P.21～110 までの一般図部分
	世界の一般図に世界遺産の記号と名称を取り上げ、他の地名と区別がつくような記号と色彩にしています。(第四号)	P.21～110 までの一般図部分
	世界の一般図に国立公園の範囲を示す記号とその名称（一部）を取り上げています。(第四号)	P.57～58 P.85～86 P.89～90 P.105～108
	ヨーロッパの歴史や文化を考える上で役立つ聖堂・教会、宮殿・城の記号を掲載しています。(第四号)	P.63～64
	一般図には遺跡・史跡や名所をそれぞれ赤字、青文字にすることでわかりやすくなるような表記を用いています。(第五号)	P.21～110 までの一般図部分

世界の地域主題図 中国主題図，東南アジア主題図，南アジア主題図，西・中央アジア主題図，アフリカ主題図，ヨーロッパ主題図，ロシア主題図，北アメリカ主題図，中央アメリカ主題図，南アメリカ主題図，オセアニア主題図	自然，民族，産業など基礎・基本的な主題図や統計グラフを掲載して，各地域に対する幅広い知識や教養が身につけられるようにしています（第一号）	P.31～108 までの主題図部分
	農業や工業など世界の諸地域ごとに産業分布図を掲載して，人間生活と産業の関わり合いなどを考察できるようにしています。（第二号）	P.31～32， 41， 46～47， 57， 74， 81～82， 93～94， 96， 102， 108
日本の一般図 日本の位置，沖縄本島，南西諸島，日本列島南部，日本列島北部，九州地方，中国地方，四国地方，近畿地方，近畿・中京，中部地方，関東地方，関東中央部，東北地方，北海道地方・千島列島および各都市図	日本の国土や環境の様相にかかわる事柄を一般図中に取り上げて，知識や教養の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。（第一号）	P.111～144
	日本の一般図に世界遺産の記号と名称を取り上げ，他の地名と区別がつくような記号と色彩にしています。（第四号）	P.112～144
	日本の一般図に国立公園・国定公園の範囲を示す記号とその名称，ラムサール条約指定地を示す記号を取り上げています。（第四号）	P.112～144
	「日本の位置」の図から我が国の国土の現状と周辺諸国の位置関係について理解できるようにしています。（第五号）	P.111
	北方領土問題の図から，領土問題に対する正しい歴史認識と経緯を理解できるようにしています。（第五号）	P.144
人口・村落・都市 国際社会 食料問題 国際経済 環境問題	人口・紛争・貿易・環境など現在の社会を現すテーマの主題図を取り上げることにより，社会への興味・関心をより一層持てるようにしています。（第三号）	P.145～146 P.148 P.150 P.153～154 P.155～156
言語・民族・宗教	文化の例として，世界や日本の言語・宗教がどのように分布しているのかが読み取れる主題図を収録しています。（第五号）	P.147
農牧林水産業 資源・エネルギー	農業や工業など世界全図または世界の諸地域ごとに産業分布図を掲載して，人間生活と産業の関わり合いなどを考察できるようにしています。（第二号）	P.149～152
環境問題	絶滅危惧種をテーマにした図を収録し，生物の多様性や命の大切さを学び，それを保護しようとする姿勢を育めるものとしています。（第四号）	P.156 図 4

日本主題図	東日本大震災や西日本豪雨など近年日本で起きた災害をテーマに、自然災害の恐ろしさと命の尊さを学び、自然と人々との関わり合いについて関心を持たせる図を収録しています。(第四号、第五号)	P.157～158
	農業や工業など産業に関係する図を掲載し、人間関係と産業の関わり合いなどを考察できるようにしています。(第二号)	P.160

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①地図を見るための工夫

大州ごとに見出しやタイトルのデザイン、インデックスの色を統一することで、地図を探しやすくまた目的のページにたどり着きやすくなるようにしています。

世界の一般図にはインデックスマップを設け、今見ている場所が地球上のどの位置なのかを判断しやすいものにしています。また隣接地域が何ページにあるのかを示し検索性を上げています。

②すべての方に見やすい、読みやすい文字仕様

一般図の地形表現から主題図まで地図帳全般を通して、ユニバーサルデザイン（UD）のフォントを主体としています。また、地名などの文字を見やすく、読みやすいものにするため明るい色彩の紙面構成になるよう努めました。なお、地図学習において重要である国名や首都名、都道府県名は文字のサイズを大きくし白い縁取りをして、他の地名との差をつけ目に留まりやすく、検索しやすいようにしています。さらに色合いの濃い下地の上に置かれることの多い山地・山脈名や同色の下地の上に置かれる海洋名などにも白い縁取りをつけ色覚特性のある方に対しても配慮しています。

③地名表記の精選

本地図帳では多数の学術書ならびにインターネット上にてより多く取り上げられている地名表記や現地音に近い地名表記を比較検討し、世間的に認知度の高い地名を掲載しています。

④長期の使用に対応した用紙と製本

高等学校において地図帳は 3 年以上の継続的な使用が考えられるため、その使用期間に耐えられる用紙の選定や頑丈な製本方式による造本を心がけています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受 理 番 号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-117	高等学校	地理歴史	地図	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
81 山川	地図081-901	詳解現代地図 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本地図帳は学習指導要領「地理総合」「地理探究」を参考にして作成するとともに、主題図の項目は系統地理学的視点と地誌学的視点の両面から取り上げられるようにしています。

(1) 一般図について

○世界の一般図に収録した世界遺産、国際空港、日本から直行便のある空港、高速自動車国道、戦跡、遺跡・史跡、ロケット発射場などと、日本の一般図に収録した政令指定都市、中核市、世界遺産、ラムサール条約指定地、名所・名勝、史跡・遺跡、テーマパークなどの名称は、記号・文字囲みや色を用いて示すことによって、一般の地名と一目で区別できるようにしています。さらにこれらの地名などを増やすことによって、地理の分野だけではなく、歴史総合や公共の授業においても効果的に利用できるようにしました。

○日本の一般図では、各地方・地域間の比較がしやすいように同程度の地図ごとに縮尺を統一しました。それにより地方図は北海道地方と東北地方を除き 100 万分の 1 を基本とし、人口が集中して地図情報が過密な関東中央部と近畿・中京については 50 万分の 1 の拡大図で補っています。これらの一般図は、学校における授業だけではなく日常生活においても広く利用できるように配慮し、最新の資料を収録して、普遍性の高い、辞書的な役割を持たせました。

(2) 主題図について

○地形や気候などの自然環境は、地理の分野の中でも基礎・基本となるため、本地図帳の先頭に配置しました。また、地理総合では自然環境と防災が設けられていることを考慮し、地形の最後に自然災害を学ぶページや日本主題図に火山や地震、水害などの図を掲載しました。

○人口、農林水産業、資源・エネルギーなど世界主題図のページについては、地理総合・地理探究とともに地球的課題を扱っているため、人口問題や食料問題を包括できるような内容にしたり、環境問題のように独立したページとして設けたりするなどの配慮をしています。

○日本の主題図では、自然・産業などさまざまなテーマの主題図を掲載し、多面的に日本を捉えられるようにしています。日本の自然分野では東日本大震災や西日本豪雨など近年日本で多発する自然災害に目を向けるような題材を取り入れました。

(3) 統計資料・索引について

○統計資料については、基本的な事項を取り上げ、世界各国の最新データが読み取れるようにし、索引については国名や首都名、県庁所在都市などに太字を用いて検索しやすいようになっています。

○統計資料の一部はカラー化を行い、自然統計ではイラストを用いるなど見やすさや興味・関心が持てるようなレイアウトにしています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
世界の国々	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理探究 B(1) 現代世界の地域区分	P.1～2	
交通・通信	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(3) 交通・通信, 観光 地理探究 B(1) 現代世界の地域区分	P.7～8	
地形	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理総合 C(1) 自然環境と防災 地理探究 A(1) 自然環境	P.9～14	
自然災害	地理総合 C(1) 自然環境と防災 地理探究 A(1) 自然環境	P.15	
植生・土壌	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(1) 自然環境	P.16	
気候	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(1) 自然環境	P.16～20	
世界の一般図 (ユーラシア・アメリカ～北極・南極)	世界の一般図については, 高等学校教科用図書検定基準〔地理歴史科「地図」〕に基づいて作成。	P.21～110 の一般図部分	
地域の主題図 中国主題図 東南アジア主題図 南アジア主題図 西・中央アジア主題図 アフリカ主題図 ヨーロッパ主題図 ロシア主題図 北アメリカ主題図 南アメリカ主題図 オセアニア主題図	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(1) 自然環境 地理探究 A(2) 資源, 産業 地理探究 A(3) 交通・通信, 観光 地理探究 A(4) 人口, 都市・村落 地理探究 A(5) 生活文化, 民族, 宗教 地理探究 B(2) 現代世界の諸地域	P.21～110 の主題図部分	
日本の一般図・都市図 (日本の位置～北海道地方)	日本の一般図については, 高等学校教科用図書検定基準〔地理歴史科「地図」〕に基づいて作成。 都市図は, 高等学校教科用図書検定基準〔地理歴史科「地図」〕に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.111～144 の一般図部分	
人口・村落・都市	地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(4) 人口, 都市・村落	P.145～146	
言語・民族・宗教	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(5) 生活文化, 民族, 宗教	P.147	
国際社会	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(5) 生活文化, 民族, 宗教	P.148	

農牧林水産業 ・食料問題	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(2)資源, 産業	P.149～150	
資源・エネルギー	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(2)資源, 産業	P.151～152	
国際経済	地理総合 A(1)地図や地理情報システムと現代世界 地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(3)交通・通信, 観光 地理探究 B(1)現代世界の地域区分 地理探究 B(2)現代世界の諸地域	P.153～154	
環境問題	地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(1)自然環境	P.155～156	
日本主題図	地理総合 C(1)自然環境と防災 地理探究 A(1)自然環境 地理探究 A(2)資源, 産業 地理探究 A(3)交通・通信, 観光 地理探究 A(4)人口, 都市・村落 地理探究 B(2)現代世界の諸地域 地理探究 C(1)持続可能な国土像の探究	P.3 P.157～160	
地図と GIS	地理総合 A(1)地図や地理情報システムと現代世界	P.161～162	
統計資料	左に示した統計資料は, 高等学校教科用図書検定基準 [地理歴史科「地図」] に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.163～174	
世界索引, 日本索引	左に示した索引は, 高等学校教科用図書検定基準 [地理歴史科「地図」] に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.175～186	
地質時代の区分と特徴	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 C(1)自然環境と防災 地理探究 A(1)自然環境	P.187	
地図の歴史	地理総合 A(1)地図や地理情報システムと現代世界	P.188	
世界の地形	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 C(1)自然環境と防災 地理探究 A(1)自然環境	P.189～190	